

トラベルプランを共有可能な地域活性化のための観光サイト

坂田義幸[†] 白滝智史[†] 山崎祥行[†] 千種康民[†] 服部泰造[‡]

東京工科大学メディア学部[†] 東京国際大学商学部[‡]

1 研究の背景と目的

地方では人口減や少子高齢化などにより商店街など地域の衰退が問題となっている。観光は地域活性化の有効な手段として注目されているが、著名な観光地がある地域に比べ、そうでない地域では活性化として有効でないと考えられてきた。また、大手旅行代理店のトラベルプランでは収益の面から著名な観光地が中心の団体旅行で、個人が興味のある場所だけを効率的に訪問しながら観光できるものではない。一方、近年の旅行のトレンドは、団体旅行から個人旅行へ、宿泊を伴う旅行から日帰り旅行へと変化してきている。

そこで本研究では、①著名な観光地がない地域→個人がこだわっている観光地の登録、②好みの観光地が少ない、あるいは見つからない→個人のこだわりの観光スポットを登録、③趣味嗜好に合ったトラベルプランが見つからない→作成者と同じ趣味嗜好を有する個人旅行者が1) タグクラウドによるトラベルプランのランキング検索、2) 特定のキーワード検索、を用いて多種多様なトラベルプランを提供、を実現する。さらに新たなプランを作成したり、観光地の登録やトラベルプランの作成の動機付けとして、トラベルプランを他者から評価できるようにする。これらの一連の流れにより、その地域の観光に関わる旅行者数を増やしていき、個人で計画することが困難で多種多様な観光地・トラベルプランや店舗の情報を提供し、著名な観光地がない地域でも観光による地域活性化ができる仕組みを実現していく。

本研究で開発する観光サイトの特徴は、a) 地域の多種多様な観光資源の発掘と店舗の認知度の向上、b) 日帰り旅行者向け、c) 個人のニーズにマッチした多種多様なトラベルプランの提供、である。これらの効果をアンケート調査し、その有効性を示している。

2 対象フィールド

本サイトでの対象予定である地域は八王子市、

The development of a shareable regional tourism site with travel plan. Yoshiyuki SAKATA[†] Tomofumi SHIRATAKI[†] Hiroyuki YAMAZAKI[†] Yasutami CHIGUSA[†] †the school of media science, Tokyo University of Technology
Taizo HATTORI[‡] ‡the school of commercial, Tokyo International University

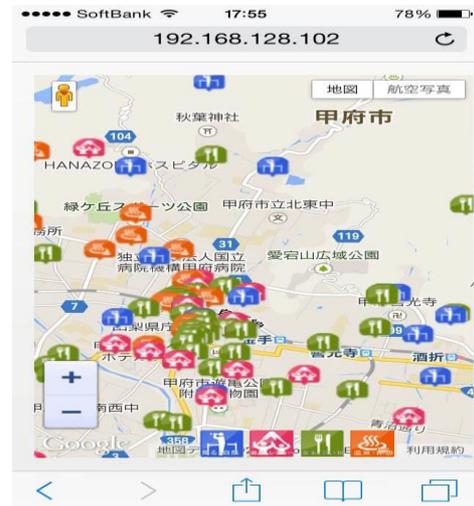


図1 観光スポットのマップ表示

久留米市、山梨県、の3地域である。八王子市には高尾山以外に著名な観光資源がないが、マイナーなB級グルメとして八王子ラーメン、はちナポなどがある。久留米市は、九州新幹線により交通の利便性が高く、マイナーではあるが数々の古墳・城跡や温泉、久留米ラーメンといった観光資源がある。山梨県も富士山や武田信玄以外の著名な観光資源はなく、同様である。

これらの地域は知名度は低い魅力的なスポットを有しており、かつ地域を挙げての観光者の呼び込みの活動を積極的に展開している。これらのことから、これらの地域は本サイトを実験するフィールドとして適していると判断した。

3 サイトの概要

本研究で開発したサイトの機能は、1) 簡単な観光スポットの登録、2) 個人のこだわりのトラベルプランの効率的な作成と提供、3) 個人旅行者のためのトラベルプランのタグクラウドによるランキング検索とキーワード検索機能の提供、4) 全機能のスマートフォン対応、である。

観光スポットを6種のジャンル分け（食事、観る、買い物、歴史、遊ぶ、自然）とし、地域の特性に合わせて4つのジャンルを用いることとした。登録内容はスポット名、参考料金、滞在時間、スポットの感想、コメント付きの写真3枚以内、とした。また、同じ観光スポットは

重複登録できない仕様とした。また、トラベルプランの作成は、登録済みの観光スポットの中から複数選択しトラベルプランでの登録順序を決定する。また、検索時に使用するタグも1個以上登録できる。

図1に観光スポットのマップ画面(山梨県)を示す。図2にトラベルプラン一覧(山梨県)を示す。トラベルプランはタイトルおよび観光スポットおよびそのコメントを順次登録して完成させていく。これにより直感的かつ簡易に1つのトラベルプランを作成可能である。また、トラベルプランを視覚的に地図上に表示する機能もある。



図2 トラベルプランの一覧画面

4 評価実験

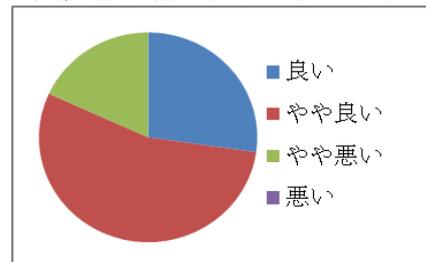
本サイトの有効性を検証するためサイトの利用実験およびアンケート調査を行った。対象：学生8名、店舗経営者3名、実施期間：2014/12～、実施機器：スマートフォン、である。

表1 評価実験結果(%)

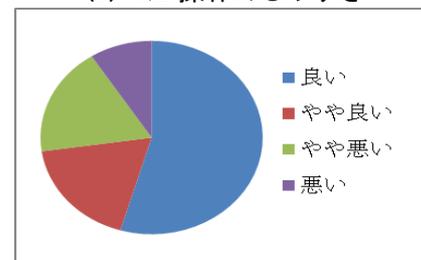
	良い	やや良い	やや悪い	悪い
Q1	18	45	18	18
Q2	27	55	18	0
Q3	9	27	45	18
Q4	0	18	45	36
Q5	9	27	36	27
Q6	55	18	18	9
Q7	27	27	18	27
Q8	18	9	27	45
Q9	36	27	18	18
Q10	36	18	27	18

設問項目は、Q1 サイトの見やすさ、Q2 操作のしやすさ、Q3 サイトの使い方を直感的に理解できるか、Q4 情報量は十分か、Q5 求める情報

があったか(情報の質)、Q6 当サイトは旅行計画を立てる上で有益か、Q7 投稿されているプランは分かりやすいか、Q8 プランやスポットの投稿方法は直感的に理解できるか、Q9 また使いたいと思うか、Q10 知人、友人に勧めたいと思うか、の10項目で、これらについてアンケート調査した。特徴的な設問についてグラフ化すると、Q2については82%がポジティブな評価となり、Q6については55%が高評価となり、本サイトの有効性を確認することができた。



(a) Q2 操作のしやすさ



(b) Q6 当サイトは旅行計画を立てる上で有益か

図3 Q2とQ6についての評価実験結果

5 まとめ

本稿では、著名な観光資源を持たない地域のための地域活性化としての観光サイトの開発とその評価実験について報告した。その結果、本サイトの操作性についておよびサイトのトラベルプランの有益性について高い評価を得た。

今後は、サイトの情報の有益性は多種多様な観光スポット数とトラベルプラン数に依存するため、これらを増やすための仕組みを単なる相互評価でなく、さらにユーザにとって魅力ある手法を導入する必要がある。

参考文献

- [1] 富士の国山梨観光ネット <http://www.yamanashi-kankou.jp/>
- [2] 浜松市公式ウェブサイト http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/kikaku/totalplan/keiei_plan/chapter3-3.html
- [3] 久留米観光サイトほとめきの街くるめ <http://www.city.kurume.fukuoka.jp/1090kankou/>
- [4] 八王子観光協会 <http://www.hachioji-kankokyokai.or.jp/>